

群馬県の外国人延べ宿泊者数は29万人で全国28位

～2017年までの5年間で4.1倍に増加、増加率では全国12位～

- 観光庁「宿泊旅行統計調査」によれば、2017年の群馬県の外国人延べ宿泊者数^(注1)は28万6000人で全国28位である(図表1)。上位には、東京から富士山、京都を経て大阪に至るいわゆるゴールデンルート上の東京都、大阪府、京都府といった都道府県が並んでいる。
- 本県の外国人延べ宿泊者数を比較可能な12年^(注2)と比べると、5年間の増加率は全国平均の3.0倍を上回る4.1倍で、全国12位である(図表2)。上位には、航空機の直行便就航や増便、クルーズ船寄港回数の増加のあった都道府県が並んでいる。一方、本県はこうした要因がない中で外国語による情報発信の強化や海外のマスコミ・旅行会社の招請、群馬県上海事務所・みなかみ町台湾事務所等海外拠点による営業支援など様々な誘客努力が結実したものとみられる。
- 国籍別にみた場合、増加数では知事のトップセールスや官民一体となった宣伝、営業活動を継続して実施してきた台湾が10万人増と最も伸ばした(図表3)。
- 観光庁「訪日外国人消費動向調査」によれば、訪日外国人は役に立った情報源として「個人のブログ」、「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」などを上位に挙げ、口コミ情報を重視している。今後は、外国人プロガーの招請やWi-Fi環境の充実、おもてなしの実践など口コミ情報対策を中心に、一層の誘客策の拡充が望まれる。

図表1 外国人延べ宿泊者数都道府県別順位(2017年)(単位:千人)

順位	都道府県	宿泊者数
	全 国	78,004
1	東京都	19,025
2	大阪府	11,707
3	北海道	7,433
4	京都府	5,587
5	沖縄県	4,604
6	千葉県	3,527
7	福岡県	3,191
8	愛知県	2,593
9	神奈川県	2,263
10	山梨県	1,533
	(中略)	
28	群馬県	286

図表2 外国人延べ宿泊者数増加率都道府県別順位

(単位:千人、倍)

順位	都道府県	2012年	2017年	増加率
	全 国	26,314	78,004	3.0
1	香川県	43	453	10.5
2	佐賀県	41	379	9.3
3	青森県	42	257	6.1
4	沖縄県	781	4,604	5.9
5	岡山県	79	423	5.4
6	長野県	288	1,319	4.6
7	和歌山県	117	522	4.5
8	大分県	310	1,317	4.2
9	福岡県	759	3,191	4.2
10	岩手県	46	193	4.2
11	鹿児島県	171	715	4.2
12	群馬県	69	286	4.1

図表3 国籍別外国人延べ宿泊者数増加状況(群馬県、2012年の上位6か国)

(単位:千人、倍)

項目	宿泊者数合計	台湾	中国	香港	韓国	アメリカ	タイ
2012年	58	24	7	6	5	4	1
2017年	261	124	23	26	11	12	17
増加数	203	100	16	20	6	8	16
増加率	4.5	5.1	3.5	4.4	2.2	3.0	17.2

(注) 調査対象施設が一部異なるため、宿泊者数合計は図表1、2と一致しない

※資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに群馬経済研究所が作成。同調査は旅館・ホテルなどの宿泊施設にアンケート調査を実施し、集計している。従業者数により国籍などのアンケート項目が、一部異なっている。

(注1) 延べ宿泊者数: 実際に宿泊した人の宿泊した日数分をカウントしたもの。例えば、1人の宿泊者が3泊した場合には3人となる。

(注2) 宿泊旅行統計調査では、2010年4～6月期より、従業者9人以下の施設も含めた現行の集計方法となっているが、本項では11年3月の東日本大震災発生に伴う訪日外国人の大幅減少を考慮し、比較対象を12年としている。

(担当: 松下 均)